

「名古屋市民の森づくり in 中津川 2023」が行われます

名古屋城本丸御殿復元に使われたヒノキのふるさとを巡る育樹バスツアーが行われます。

■日時

令和5年11月12日（日曜日） 10時00分から15時00分

■場所

＜森林整備＞ 福崎の森「名古屋市民の森」（中津川市加子母 3885-22）
＜森林散策ほか＞ 夕森公園（中津川市川上 1057-4）

■内容

名古屋市民35人が参加。午前中は森林整備として食害にあったヒノキの苗木の補植を、地元林業関係者の指導の下、1人3本を植栽します。
午後からは、夕森公園に移動し、竜神の滝めぐりや苔玉づくりをインストラクターの指導のもと行います。

■目的

名古屋城本丸御殿には、木曾・裏木曾の貴重な木材が使用されています。平成20年に上流の豊かな自然を将来に残せるようにと、加子母地内の市有林「福崎の森」の一部で名古屋市が森林づくりを始め、10年で1万本を植栽しました。
森づくりは、「植えて終わりではない」との考えから、下刈などの森林整備が続けられており、令和5年は、ニホンジカによる食害を受けた苗木の補植作業が行われます。

■参考

1610年、名古屋城築城に際し、旧川上村の長坂から2万5千本のヒノキが産出されたと古文書に記載されています。
本丸御殿の復元も、名古屋城の築城の史実に基づき、木曾・裏木曾の木材を使って再建されました。

■主催

名古屋市（名古屋市観光文化交流局 名古屋城総合事務所）担当：西浦（052）231-2483

■協力

加子母森林組合、加子母優良材生産研究クラブ、川上まちづくり協議会

お問い合わせ先

農林部 林業振興課 担当者：桂川
電話：0573-66-1111（内線245）